

再々評価個表

事業名	総合流域防災事業	事業主体	愛媛県
施設・工区名等	(二)増穂川 <small>ますほがわ</small>	事業箇所	宇和島市津島町増穂 <small>ますほ</small>
事業主旨	<p>二級河川増穂川は、現況河川断面が狭小であるため、頻繁に家屋や農作物に浸水被害が発生している。</p> <p>このため、本事業では河幅を拓げることによる河道断面の拡大や横断工作物の改築を行うことにより、浸水被害の低減を図り、住民生活及び生産活動の安定を図るものである。</p>		
再評価の実施理由	「再評価実施後5年が経過して継続中」の交付金事業		

1. 流域の概要

<p>増穂川は、宇和島市津島町増穂本俵に源を発し、津島町増穂の平野部を流下して津島町岩松で岩松川に合流する流路延長6.4km、流域面積13.2km²の二級河川である。</p> <p>増穂川の流域には田園地帯が多く、底平地で水はけの悪い地形、河道の流下能力不足が重なり、家屋や農地に浸水被害が発生している。</p>

2. 事業概要及び事業経緯

事業採択	平成8年	完成予定	平成30年
用地着手	平成9年	工事着手	平成10年
全体事業費	2,200百万円(うち用地費:467百万円)		
(1)事業概要	全体計画3,950m、築堤5,270m、掘削76,300m ³ 、護岸工2,600m、道路橋11橋、堰8基		
(2)事業経緯			

3. 事業の必要性及び整備効果等

(1)事業の必要性	<p>事業区間の流域では、平地で河積が狭く、家屋や農地の浸水被害が度々発生していることから、河積の拡大や横断工作物の改築を行うことにより、浸水被害軽減を図る必要がある。</p>
(2)事業の整備効果	<p>増穂川においては、河川改修を概ね10年に1回発生すると予想される降雨による洪水を安全に流下させる計画を進めており、これにより家屋123戸、農家8戸、事業所2事業所、農地79haの浸水被害の軽減を図ることができる。</p>
(3)事業を巡る社会経済情勢等の変化	<p>【地域の協力体制】 関係者と市による調整が行なわれており、円滑に事業が進捗している。また、用地買収についても地元地権者の協力を得て順調に進んでいる。</p> <p>【地域の事業に対する社会的評価】 地元における浸水被害軽減に対する改修の効果は高く評価されており、整備の完了が求められている。</p>

4. 事業の進捗状況及び進捗の見込み

<p>(うち用地費) H23末投資事業費</p>	<p>(437百万円) [進捗率：93.5%](事業費換算) 1,768百万円 [進捗率：80.4%](事業費換算)</p>
(1)事業の進捗状況	<p>平成23年度末において、事業進捗率で80.4%、用地買収については93.5%の進捗率となっている。また、整備済延長は2.6kmであり、特に問題もなく整備が図られており、今後とも順調な事業の進捗が見込まれる。</p>
(2)これまでの整備効果	<p>下流よりL=約2600mの整備が完了しており、河積の拡大により浸水被害の軽減が図られる。</p>
(3)今後の事業進捗の見込み	<p>地元の協力体制も整っており、今後とも順調な事業進捗が見込まれ、平成30年度事業完了に向けて事業の進捗を図る。</p>

5. 事業の投資効果（費用対効果分析）

（1）費用便益比

C：総費用＝3,034百万円

- ・建設費 2,854百万円
- ・維持管理費 180百万円

B：総便益＝4,296百万円

- ・一般資産被害（家屋、家庭用品、事業所、農漁家）及び農作物被害
 - ・公共土木施設等被害（県道宇和島城辺線、市道）等
 - ・間接被害（営業停止損失、家庭・事業所の応急対策費用）
 - ・想定氾濫区域内の資産
 - ・残存価値
- | | | | |
|------|------|----|------|
| 家屋 | 123戸 | 農家 | 8戸 |
| 事業所数 | 2事業所 | 農地 | 79ha |
- （建設業・小売業等）

$$B/C = 4,296 / 3,034 = 1.42$$

6. コスト縮減や代替案立案等の可能性

工事施工に当たっては、埋戻材料及び盛土材料に建設発生材を有効活用し、コスト縮減を図る。

また、残土搬出については、公共工事間流用が図れるよう、各関係機関との情報交換を積極的に行なう。

7. その他

工事の施工にあたっては、自然環境及び河川利用の実態の把握に努め、治水面及び利水面との調和を図る。

8. 対応方針（素案）

本事業を『継続』としたい。